平成30年度第2回東郷町総合教育会議会議録

1 日 時

平成31年3月18日（月）午後 2時55分 開会

午後 3時45分 閉会

2 場 所

東郷町役場 2階第4会議室

3 出 席 者

町 長 井俣 憲治

教 育 長 石川 光秋

教育長職務代理者 小出 直美

委 員 奥谷 美香

委 員 近藤 万友美

委 員 石田 守良

4 欠席委員

なし

5 事 務 局

企 画 部 長 : 島川 雅彦

企画情報課長 : 木本 清彦

6 説明のため出席した職員の氏名

教 育 部 長 : 磯村 元彦

学校教育課長 : 坂野 丈就

参 事 : 酒井 保幸

生涯学習課長 : 中根 一郎

高校総体室長 : 樋口 美紀

給食センター長 : 石原 稔久

【事務局】

それではみなさま、全員お揃いのようなので、ただいまから平成31年度第2回東郷町総合教育会議を開催いたします。本日の進行を務めます木本と申します。よろしくお願いいたします。

本会議は公開としておりますが、本日傍聴の希望はありませんでした。

それでは、開会にあたりまして、町長からご挨拶を申し上げます。

【町長】

こんにちは。本日は大変お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

本日の会議では、教育環境の整備として、今年度の補正で提出しました小中学校のエアコンの設置工事、国の二次補正で補助金を認めていただきました音貝小学校及び諸輪中学校のトイレ洋式化の今後の予定について、そして今議会で審議している平成31年度当初予算の内、教育関係の主要事業につき皆様にご意見をいただきたいと思っております。

教育委員会の皆様には、引き続き忌憚のない意見を賜りながら、教育環境の改善・良好な教育環境づくりに努めて参りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【事務局】

それでは、東郷町総合教育会議の設置要綱に基づき、町長に議長をお願いしたいと思っておりますので進行をよろしくお願いいたします。

【町長】

それでは早速協議に入りたいと思っております。お手元の次第に沿って進めさせていただきます。

(1) 空調設備（エアコン）、トイレ洋式化等の整備状況について、事務局の説明をお願いします。

【学校教育課長】

学校教育課長の坂野です。よろしくお願いいたします。

協議事項の1つ目、空調設備（エアコン）、トイレ洋式化等の整備状況について説明します。

資料1-1 エアコン整備状況をご覧ください。

普通教室、特別教室の教室数とそれぞれの整備率、全体の整備率をまとめております。

全教室数は小学校では普通教室が112、特別教室が80で合計192室、中学校では普通教室が50、特別教室が55で合計105室となっています。

また、整備率については、現在、小中学校の普通教室へのエアコン整備を平成31年7月稼働に向けて進めている状況ですが、全工事の完了後の整備率として記載

しております。

普通教室は100%、特別教室は小学校では80教室のうち17教室で整備済みであり整備率は21%、中学校では55教室のうち13教室で整備済みであり24%となっています。

続いて資料1-1の裏面をご覧ください。

学校ごとのエアコン設置教室数をまとめています。

小学校では全学校においてコンピュータ室と図書室にエアコンを整備済みです。

中学校では全学校において音楽室、コンピュータ室、図書室に整備済みです。

続いて資料1-2をご覧ください。

トイレ洋式化整備状況です。小学校、中学校、学校ごとでトイレ洋式化率を出しております。

こちらは現時点での整備率となっております。洋式化率を見ていただきますと、小学校では合計66%、中学校では合計45%となっております。

トイレの洋式化につきまして、平成30年度の補正予算で音貝小学校と諸輪中学校について今後整備する予定です。

こちらが整備済みになると、音貝小学校は25%のところ73%に上がります。諸輪中学校は19%から85%へ変わります。平成31年の夏休みの時期に工事を進めさせていただきたいと思っております。簡単にではありますが、協議事項(1)の説明を終わります。

【町長】

音貝小学校及び諸輪中学校が洋式化できると、小学校と中学校の洋式化率は何%に変わりますか。

【学校教育課長】

先ほどお尋ねのありました音貝小学校と諸輪中学校を整備した場合のトイレ洋式化の整備率ですが、小学校は66%が74%に、中学校は45%が64%になります。

【町長】

委員の皆様はご意見やご質問がありましたら、挙手にてお願いします。

【委員】

エアコンを設置していただけることは本当にありがたいことです。

【町長】

豊田市では熱中症で子どもが亡くなるという事案がありましたが、エアコンは直接的なものではありません。

私たちが気を付けなくてはいけないことは別にあって、直接的な部分については、

常に留意して、教育委員の皆様、学校教育の担当職員、教職員の皆様にもご理解いただけていると思いますが、常に念頭において対応させていただく、子どもの安全・体調管理に一層の配慮が必要なのかと思います。

大事なのはエアコンを設置することではなく、どのように運用するかということかと思います。この点については、教育委員の皆様とご相談しながら、学校部局、教職員の皆様と勉強しながら、適切な管理をしていただきたいと思っておりますし、子どもの体調・教育環境の整備については、私も留意して、補佐する形になりますが教育長とともに進めさせていただきたいと思っております。

【委員】

エアコンの設置状況について調べていただきありがとうございます。

特別教室の現状の使用率はどのくらいでしょうか。朝の何時から何時まで使用している等の詳細なデータはありますか。

エアコンをどのように運用していくか、設定温度を何度にするのか。実際の熱中症に対する影響度は、設定温度の仕様ではないと思うので、管理項目として尺度化していただき、エアコンとは違った尺度で学校側に指針的なものをもっていただきたい。

定期的や季節的等、時期によって管理項目を明確にするのはいかがですかという提案として述べさせていただきました。

【町長】

特別教室の利用状況はすぐにわかりますか。一日に何コマ使われているのか。利用率が高ければ、普通教室並みに設置することを検討すべきではないかという質問です。

【中川課長補佐】

今は手元に資料がありませんが、コマ数については調べてありますので、近いうちに委員の方々にお渡しします。

【委員】

特別教室について、他市町と比較をしたときに東郷町は進んでいるのでしょうか。

【中川課長補佐】

近隣市の状況については、長久手市とみよし市は今年の夏までに全特別教室の整備が完了する予定です。

日進市は、特別教室のエアコンにつきまして、昨年11月までは設置していく方向でしたが、12月になって特別教室のエアコンを見送りすることとなりました。

豊明市は、特別教室の中でも少人数指導教室・通級教室・小学校の音楽教室について設置していきたいと伺っております。

本町も、少人数指導教室と小学校の音楽教室について今後設置していきたいと思っています。

【町長】

豊明市と日進市は特別教室の設置数はゼロですか。

【中川課長補佐】

ゼロというわけではありません。

コンピュータ室や図書室があるので、本町と同じように設置済みです。

ただ豊明市は、中学校の音楽室は整備されていません。

【委員】

では、近隣市町の状況や差がわかるように一枚のシートにしていきたい。

【町長】

例えば、季節によっては普通教室でできる授業もあるので、全てやるのが適切なかどうか提示していただき、教育委員会の皆さんにご議論いただけるよう用意してください。

【委員】

町に予算をお願いしないとできないと思うので、精査したデータをとるようにしていきたい。

【町長】

それでは、協議事項(2)平成31年度教育関係主要事業について説明をお願いします。

【学校教育課長】

協議事項について説明をさせていただきます。資料2をご覧ください。

平成31年度教育関係主要事業についてということで、1つ目については給食センターの事業になりますが、安全・安心でおいしい給食の提供となります。

保育園及び小中学校において、安全安心でおいしい給食の充実を図ります。また、小中学校給食費の一部を公費負担し、保護者の負担が増えないよう措置します。

事業内容といたしましては、有機栽培の食材を活用、東郷町産食材を活用、小中学校給食費の公費負担となっています。

2つ目といたしまして、スクールサポーター配置事業です。児童生徒の学校生活をより豊かなものとするため、不登校傾向又は軽度発達障がい等で集団での授業に

参加できないなど、教育活動に支援を必要としている児童生徒に対し、将来教職に就きたいと考えている大学生の協力を得てサポートを行います。

3つ目といたしまして、小学校タブレットパソコン整備事業です。情報通信技術を効果的に活用した授業を実施し、児童の情報活用能力を向上させるため、各小学校に11台ずつタブレットパソコン等を整備するものです。

4つ目といたしまして、外国青年招致事業です。

小中学校で4名配置している外国人英語指導助手を、文部科学省、外務省及び総務省が推進しているJETプログラムを活用し、2名増員することで英語の授業をさらに充実させるものです。

5つ目といたしまして、小中学校プール修繕工事です。

児童生徒が安心してプールを使用できるようにするため、老朽化したプールサイドの滑り止め塗装を修繕するものです。

6つ目といたしまして、ナックルフォア艇購入事業です。

町民レガッタの円滑な運営と艇の故障に対応するため、ナックルフォアを8艇購入する事業です。

6項目につきまして、教育関係主要事業として説明をさせていただきました。以上です。よろしくお願いいたします。

【町長】

ありがとうございました。

31年度の主要事業について、ご意見・ご質問等がありますか。

【委員】

安全・安心でおいしい給食の提供ということで、有機栽培の食材を取り入れられたのはうれしいことです。有機栽培なので天候によって生産量が変わってくると思われるため給食センターさんは大変かと思いますが、東郷町産の食材とともに、有機栽培などの体に良いものを給食に取り入れていくというのは、保護者目線でもうれしいことだと思います。有機栽培というスーパーマーケットでは割高なものを公費負担とし、保護者の負担にならないようにしていただけるのはありがたいことです。

【委員】

有機栽培が本物かどうか確認をしてください。

【給食センター長】

基本的には農林水産省の有機 JAS 認定を受けたものとしています。

【町長】

すでに本町では有機 JAS 認定を受けた町内の農園から食材を 2 度購入しています。

【町長】

協議事項(3)教職員の働き方改革について、説明をお願いします。

【学校教育課長】

協議事項(3)について説明をさせていただきます。

資料 3-1 をご覧ください。

教職員の働き方改革についてのこれまでの取り組みとしましては、校務支援システムの導入をしています。

内容としては、児童生徒のデータを一元化することで、出欠席管理や成績管理等の帳票に自動転記されるものです。また、学校内での情報共有や他校とのデータのやり取りも可能となります。

効果としましては、これまで様々な帳票に対し、児童生徒の情報をコピーや再度入力で対応し時間を要してきました。しかし、データを一元化することで、事務量の軽減と記載の正確化に繋がっています。

次に今後の取り組みです。

1 つ目は、スクールサポーターの配置です。

内容としましては、教育活動で個別支援を必要とされる児童生徒に対し、将来教職に就きたいと考える学生を充てサポートを行うものです。

予想される効果としては、これまでサポートが必要な際は、各学校が大学と直接交渉しながら進めなくてはならず、時間も要すことから協力をあまり求めてこなかったという学校がありました。しかし、教育委員会が大学と調整し学生を斡旋してもらうことで、学校側の負担もなく、サポートする学生が増え、児童生徒へのサポート体制が推進できるものと思われまます。

2 つ目は、IC 型タイムカードの導入です。

内容としては、文部科学省の「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」において、タイムカード等による適切な方法で勤務時間の把握が事業者の義務として明確化されたものです。

タイムカードによる教員の在校時間を正確に管理することができることとなります。

予想される効果は 2 点ありまして、1 点目は在校時間が明確化されることで、長時間労働の改善に繋げることができることです。2 点目は教員の報告書作成の効率

化が図られます。

3つ目は、電話に自動音声応答装置の導入です。

内容としては、中央教育審議会による「学校における働き方改革に係る緊急提言」において、教員の勤務時間外における保護者や外部からの問い合わせに対応するために、留守番電話の設置等をはじめとした体制整備の支援を講じることとされております。平日の夜間から早朝や休業日において、外から掛かってきた電話に対して教員が対応しなくてもよくなることが挙げられます。

予想される効果としては、平日の夜間から早朝や休業日における電話対応をなくすことで、効率的な業務に集中できることが予想されるものです。

さらに資料3-2ですが、東郷町の教員の多忙化解消プランを添付しています。こちらについては、見ていただいた資料のとおりです。

簡単にではありますが、(3)教職員の働き方改革についての説明を終わります。

【町長】

ありがとうございます。

【町長】

教職員の働き方、拘束時間が社会的な問題となっております。これはそれに対応しようというものとなっております。

委員の皆様はご意見等ありますでしょうか。

【委員】

先月末に全国の教育委員が参加する文部科学省の研修がありまして、様々な地域の教育委員と話してきたことをお話ししたいと思います。主に関東の方が多かったのですが、どの地域の方も同じような問題を抱えており、どこも東郷町と同じようなペースで取り入れていっているようでした。例えば、ノー残業デーを作るとか、ノー部活デーを作るとか。いろいろ試行錯誤をされていました。

自動音声応答装置の導入については、すでに導入している所もありまして、結果としては留守番電話に入っていることはほとんどありません。その時間帯までいなくても、留守番電話で対応可能なのだと、その地域の教育委員さんは話されていました。タイムカードもそうですし、東郷町も素案に従って進めていってよいのではないかと思います。

1つ印象に残っていることがあるのですが、昨年度まで校長先生をされていた教育委員さんが、学校がどこまで責任を負っているのか明確にしてほしいというのを文部科学省におっしゃっていました。働き方改革の主旨から外れるかもしれませんが、学校はどこまでやっているのか、保護者に任せていいのかということ踏まえ

ないとうまく機能しないのではないかと。チームの学校とも言われていますので、業務を精査していくのも大切なのではないかと。せっかく聞いてきたことなので、ここでお伝えさせていただきました。

【町長】

他にご意見はありますか。

【委員】

一つ質問なのですが、自動音声が再生される時間帯は夜8時から朝7時頃までののでしょうか。

【参事】

おおむねそのとおりです。

夕方の一定の時間から朝の一定の時間までです。

【委員】

もし、その時間帯に学校に電話をするとどのようなメッセージが流れますか。

【参事】

実際には留守番電話に録音するのではなく、「緊急のこと以外であれば、おかけ直してください。緊急のことであれば、教育委員会の方へ連絡してください。」というように応答します。

【委員】

ありがとうございます。

【町長】

他にご意見等ありますでしょうか。

ないようなので、本日の議題事項については終了させていただきます。

【事務局】

ありがとうございました。

本日はこれで終了させていただきます。

次年度につきましても年に2度ほど予定させていただきたいと思います。

別途日程を調整して開催いたしますので、よろしく申し上げます。

以上をもちまして、第2回総合教育会議を終了いたします。

ありがとうございました。